

保護者の皆様へ



R4. 1. 13

花園保育園



節分・恵方巻祭り(No. 2)



恵方巻
節分に食べ物と言えば、恵方巻ですね。毎年異なる方向を向いて食べるものですが、それは何故なのでしょう？この毎年恵方巻を食べる為に向いている方向のことを恵方と言います。この恵方は「歳徳神（としとくじん）」という神様がいらっしゃる場所とされており、その年に縁起のいい方角とされています。ちなみに今年の恵方は「北北西」です。

恵方に向かってことを行えば何ごとにも吉とされ、その為かつては初詣も恵方の方向の神社に参ったり、初めてのことを行う時は恵方に向かって行ったりしていたそうです。その年の縁起を担いで頂く恵方巻に、正しい食べ方があるのでしょうか？どう食べれば御利益を得ることが出来るのでしょうか？

恵方巻ルールその1 恵方を向いて食べる。神様がいらっしゃる恵方を向いて、食べている間はその方向だけを見ること。よそ見をしてはいけません。そうでないと御利益を得ることが出来ないそうです。

恵方巻ルールその2 恵方巻は黙って食べる。恵方巻は食べ終わるまで黙って食べないと、御利益を得ることが出来ないそうです。丸ごと食べ終わるまで、静かに恵方巻を食べましょう。

恵方巻ルールその3 恵方巻は一気に食べる。恵方巻は上品に切り分けたりせず、1本をがぶっと一気に食べましょう。途中で休んだりすると、やはり御利益がなくなってしまうそうです。食べ終わるまで、恵方を向き、一気に1本を食べて下さい。ただし花園では、子供が食べ易いように、少し細めに巻いたミニサイズで節分気分を味わいます。

節分に太巻き寿司を食べるルーツは、関西で「幸運巻き」として風習化されていました。それが恵方巻というネーミングで全国に知られるようになったのは、1998年にセブンイレブンが一大PRキャンペーンを仕掛けた結果、全国に一気に広まったからです。その後他のコンビニ、スーパー、百貨店等の各チェーンが追従しブームとなりました。

ただセブンイレブンの恵方巻の発祥は大阪でも東京でもなく、加盟店オーナーが関西出身の広島市内の店舗だそうです。福を巻き込む意味を込めた巻き寿司の為、七福神にちなんだ縁起の良い7種類の具を入れて巻きます。

- ①かんぴょう
- ②しいたけ煮
- ③卵焼き

成分が美容に良いことから女性の女神→弁財天
元氣と壯健への願いから笑顔の仏様→布袋尊
黄色は金運アップの象徴から財宝の神様→大黒天



- ④うなぎ(カニかま) うなぎのぼりに通じて長寿の象徴→福祿寿
- ⑤高野豆腐 原料の大豆に邪気を払う力が有り→毘沙門天
- ⑥きゅうり きゅうりが「9の利を得る」で商売繁盛→恵比寿天
- ⑦海老 腰が曲がるまで長生き→寿老人

豆まき終了後、昼から4・5歳が恵方巻を作っておやつに食べます。みんな自分で作ることが嬉しくて、のりにくるくる巻く作業は真剣です。完成した恵方巻は、北北西の方向を向いて食べます。元氣一杯、笑顔一杯の子供たちに幸せも一杯呼び込みたいですね。

いわしの塩焼き



節分といえば、「豆まき」や「恵方巻」を連想する人が多いと思います。しかし、西日本ではいわしを食べたり、飾ったりする習慣があります。何故節分にいわしなのでしょう？いわしは、字を見ても「鰯」、魚へんに弱いと書きます。更に、いわしには独特の臭いがあります。

昔から鬼は臭いものを嫌うとされ、魔除けには臭いのきついものが使われており、臭いのあるいわしを食べることは、陰の気を消してしまう意味があります。節分は冬の最後の日、即ち旧暦の大晦日にあたり、節分の次の日、立春は旧暦の元日なので、新しい年を迎えるにあたり「魔除け」の意味でいわしを食べる訳です。

また、いわしを焼く時に出る煙は邪気を追い払うそうです。いわしは、DHA、カルシウムなどを豊富に含む栄養価が高い魚です。寒い時期に無病息災の儀式として、栄養価の高いいわしを食べることが定着したとも考えられます。いわしの食べ方に決まりはありませんが、魔除け、厄払いの意味でもいわしの塩焼きが一番のお勧めです。

塩焼きはいわしそのものの美味しさを味わうことができ、小魚なので三枚におろす必要がなく、そのまま焼くことができます。



けんちん汁

節分にけんちん汁を食べる風習があるのはご存知ですか？園では節分に給食でけんちん汁を出します。けんちん汁とは、大根や人参、ごぼう、里芋、こんにやくなどの具材が入った汁です。昔は、節分やえびす講、初午など冬の行事が大変盛んだったそうで、冬の寒い時期に、温かいけんちん汁は欠かせない行事食でした。

しかし時代の流れとともに冬の様々な行事が衰退し、節分だけが残った為、節分にけんちん汁を食す風習だけが今もあるようです。つまり節分にけんちん汁を食べるようになったのではなく、けんちん汁を食べる冬の行事の中で、節分だけが残ったということです。けんちん汁に豆や恵方巻のように、縁起物としての意味はないようです。(こ)

